

開会あいさつ

姫路市副市長 黒川 優



皆さん、こんにちは。姫路市都市景観フォーラムの開催に当たりまして、主催者を代表いたしまして一言御挨拶を申し上げます。

本日は、本当にたくさんの皆様方に御参加をいただきまして、ありがとうございます。姫路市は緑豊かな山並み、穏やかな瀬戸の海、そして肥沃な播磨平野などの多彩な自然や、先人が築いてこられた姫路城を初めとする多く歴史的、文化的資産に恵まれております。姫路の魅力さをさらに高めていくためには、これらの優れた資産を生かすとともに、次の世代にしっかりと伝えていく、引き継いでいくことが大切だと考えております。

近年では、私たちが美しい、残したいと思う景観は保護されるべき価値があると認識をされております。姫路市では、昭和62年になりますが、都市景観条例を制定し、「市民一人一人が、愛着、親しみ、誇りを感じる美しいまち、姫路」を合い言葉に、このまちづくりを目指して、さまざまな取り組みを進めておるところでございます。

本日のフォーラムは、「未来につなぐ姫路らしい景観」をテーマに開催をいたします。まず、第1部で第11回姫路市都市景観賞表彰式をとり行います。第2部では、講師として

永田萌姫路市立美術館長をお招きいたしまして、「美しい姫路、その景観をいつまでも」と題して、お話をいただきます。

永田館長は、皆さん御承知のとおりイラストレーターで、絵本作家でいらっしゃいます。中学、高校時代は姫路へ通学されるなど姫路に大変ゆかりが深く、その御縁でことしの4月から本市の美術館長に就任をいただいております。ありがとうございます。

その後、引き続き永田館長を交えまして、「姫路城を活かしたまちづくり」というテーマでパネルディスカッションを行います。姫路の魅力さを高めるために、姫路市民の誇りである世界文化遺産姫路城を活かした景観まちづくりにどのように取り組めばよいのか、皆様とともに考えてまいればと考えております。

最後に、本日のフォーラムが実り多いものとなりますよう心から祈念をいたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

